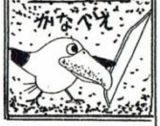
山弓連

平成10年度 第4号



第53回国民体育大会 かながわ・ゆめ国体

成男近的で七位入賞
少女遠的決勝Tに進出して健斗

[観戦記]

今年の国体は神奈川県が会場地。マスコットは、かもめの「かなべえ」くん。弓道競技は厚木市で開催された。山梨からは成年男子と少年女子の二チームが出場。過去の国体では複数チームが出場した時は、必ず入賞しているという歴史をもっているので、「今年も……」と、一同張り切って試合に臨む。そして、結果的には成男近的七位入賞を果たし、みごとに歴史の流れを引き継ぐことが出来た。また少年女子も遠的競技で健斗、予選を突破して上位16チームによる決勝トーナメント戦まで進出したが、その一回戦で惜敗し、惜しくもいま一歩のところで入賞を逃した。戦績次の通り。

第1日　成年男子遠的予選

大会初日の最初の競技ーまずここで好成績ですべり出したいところ。練習でも高得点を出しているので、自信をもって臨んだが一回目意外に不調。三人合わせて28点にとどまる。これは47チーム中42位。こんな筈はないと再調整して、二回目は50点と得点を伸ばしたが、合計78点は26位にしかならず、予選通過成らず。二回目だけの得点順位が12位であっただけに一回目の不調が如何にしてもザンネン!。

少年女子近的予選

高木、五味、大村の山梨選抜チーム。度々の各大会でそれぞれ好成績を残してきた選手ぞろいで、入賞も夢ではないと期待がかかっていた。特に近的では自信があった筈だったが……。

一回目。やや固くなったか、7中にとどまる。しかし他チームもそれ程伸びず、山梨は前半で10位タイにつける。後半次第で、上位16位に入るのは十分に可能な位置。ガンバレ山梨!!

ところが後半、急に失速して5中。他チームは逆に後半に的中を伸ばして次々と追い越していき、結局、合計13中同士の競射が、予選通過ラインとなった。まさに「一本に泣く」を地で行く結果となり涙をのんだ。明日の遠的でのガンバリを心に期して退場した。

第二日　成年男子近的予選

今日こその意気ごみが顔にあらわれている。一回目、荒井と渡辺が一本ずつ落としたが中込皆中して10中。まずまず幸先ヨシ。一回目の10中以上は16チーム。このままでファ走れ!!

二回目はなお快調。中込が一本外したが荒井と渡辺が共に皆中して11中。合計21中を手に持ってあとのチームの成績を待つ。(実は立順13番だから早い方なので、あとのチームの出来が気がかりでドキドキしていた)

しかし、流石に21中に追いつくチームはそれ程多くはなく、結果は次のようになった。

22中(1) 21中(7) 20中(4) 19中(3)

18中(8チームの競射で7)以上16チームが予選通過。つまり山梨は二位タイで通過ということ。

21	荒井	渡辺	中込
	○	○	○
	○	○	○
	○	○	○
	○	○	×
	○	○	○
	○	×	○
	○	○	○
	×	○	○

少年女子遠的予選・決勝

これもまた昨日の雪辱戦。やはり「今日こそ」の意気さかん。

一回目……出足やや鈍かったが二射目から持ち直し、一応37点にまとめる。10位タイで望みつなぐ。二回目……も同じようにと期待したが、ややしぼみで29点に終る。合計66点では少し無理かとヒヤヒヤしていたが、他チームも予想外に伸びず、13位タイで、辛うじてすべりこむ。よかった。

ちなみに予選最高は115点、最低点は31点であった。

66	高木	五味	大村
	9	0	0
	3	0	0
	/	3	0
	3	3	7
	5	0	0
	7	9	0
	3	5	5
	3	0	0

●いよいよ決勝トーナメント戦。抽選の結果、相手は埼玉と決まる。関東でいつもよく戦ってきた者同士。お互い手の内は知っている。あとは気力の勝負とみていたが……。思うように得点が伸びず40対29で敗退。

29	高木	五味	大村
	3	/	7
	/	0	5
	0	7	0
	0	5	0

八位以内入賞の夢はここで消えた。しかし、ともかく一種目でも16位以内の予選通過が出来たのは、ひとつの成果で、今後の躍進への足がかりになったとはいえる。参考の為に、今回上位入賞したチームのトーナメント戦に於ける得点数を示す。

県	一回戦	準々	準決勝	決勝	順位
兵庫	36	48	46	51	優勝
熊本	57	49	55	40	準優勝
山口	52	46	45		三位
埼玉	40	54	42		四位

それぞれ、コンスタントに高得点をマークしていることがわかる。

第四日　成年男子近的トーナメント

弓道競技の、いわばメインイベント。ここで勝つと、「勝った!!」の実感がわく。だからみんな力がはいる。いざ決戦。

第一回戦。抽選により相手は、予選一位の富山と決まる。これは強敵。二位グループの中でも山梨は強いとの評判が立ち、観覧席では「実質的な一、二位対決」などとはやし立てている。うちの選手たち、固くならねばよいが…。「最初に強敵とあたって幸運。それを倒せば、あとはスイスイ」と励まして送り出す。立順は最後の8番目。それまで5チーム残っていた関東勢が、神奈川以外は全滅。不安がよぎる中で試合開始。

(一回戦)

富山 6	高岡	升井	布目
	×	×	○
	○	○	○
	○	×	×
	○	×	×

山梨 9	荒井	渡辺	中込
	×	○	×
	○	○	○
	○	○	○
	×	○	○

(準々決勝)

高知 10	西本	小松	琴寄
	○	○	○
	○	○	○
	○	○	○
	×	○	×

山梨 9	荒井	渡辺	中込
	○	○	○
	×	○	○
	×	○	×
	○	○	○

強い筈の富山、一位通過のプレッシャーに負けたのか、失中つづき。二射を終って3中差をつける。あとは気楽に差を保って楽勝。9対6。少し気が抜けた感じ。これで8位以内確保。

準々決勝は高知とあたる。一射目、相手が二本落とす。「山梨陥し」の幻影におびえたか(?)こちらは皆中で二本差をつける。思わず、「イケル」「勝った」と妄念がわく。二射目、今度はこちらが二本外して、忽ちタイとなる。そこが勝負の分かれ目となった。終ってみたら10対9の負け。また「一本に泣いた」

あの時、選手の心の中に、どんな動きがあったのかはわからないが、観覧席の応援団の中にさえ、一瞬の妄念がわいたのだから、選手に何がおこってもしかたがない。

(5〜8位決定戦)

順位	五位	八位	六位	七位
	3	/	2	////
同中競射	3	/	3	2 (荒井× 渡辺○ 中込○)
一回目	5	4	5	5 (荒井○× 渡辺○○ 中込○○)
県	神奈川	岩手	石川	山梨 (荒井 渡辺 中込)

一回目に岩手が落ち、二回目に山梨が落ち、三回目で順位が決定した。よく戦った。「ご苦労様」

表彰式

広い体育館の表彰式場で、成年男子近的の種目七位表彰を受ける。晴れがましい瞬間。塩高監督は、あえて渡辺選手を指名して演壇に向かわせた。予選から競射までを、19射18中(トーナメントでは皆中)という好成績で通した功績を賞讃したかったのかも知れない。

戦い終っての感想あれこれ

・「弓の勝負は水もの」「勝敗は予想できない」と、ずっと思っていたが、少し考えが変わった。今回の成績をみると、予選で好成績だったチームが決勝でも強い(ことが多い)。つまり「強い者が勝つ」「運や調子よりも実力が優位」と思わされた。

・「遠的は、運と調子に左右される。」と思っていたが、この考えも修正を迫られた。何故なら、入賞したチームはそれぞれ、コンスタントに高得点をマークしていて、予選で強かったところが決勝でも勝ちすすんでいた。ブロック勝ちと思われるケースは少なかった。「練習↓確実性↓勝利」とわかった。

オメデトウ 新錬士　白須吉人さん

久々に、山梨に若い錬士が誕生した。若冠29才。10月18日に小瀬武道館で行われた中央審査で、みごと合格した。20才代での合格は、日原正史氏、芦沢茂孝氏に続いて、県内では三人目の快挙。アッパレ。これまで、富士吉田の若手グループのリーダーとして各種大会で活躍するとともに、永年、国体強化選手としても錬磨に励んで技を磨いてきたが、その努力がここに実を結んだ。今後ますます自らの射技射術に磨きをかけると共に、指導者としての素養をもしっかりと身につけて大成してほしい。将来の「期待の星」として、みんなからいつも注目されていることを常に忘れないように。なおいっそうの発展を祈る。おめでとう。

県ねんりんピック

9月12日(日)武道館で開催。60才以上のねんりん弓士43名が参加。それぞれ十分に年輪を感じさせる古決な技による熱戦が展開された。的中も、若者たちに負けない高レベルの試合となり、決勝は、7中同士の射詰め競射という、すばらしいものであった。入賞者は次の通り。

優勝　佐野辰巳(南部)7中(射詰○○)
二位　山本 満(南部)7中(射詰○×)
三位　中沢利正(下部)7中(射詰×)

県体育祭弓道大会

9月20日(日) 市と村の部は緑が丘弓道場で、町の部は武道館で開催した。成績次の通り。

団体戦 種別	一位	二位	三位
市 男	富士吉田 21	甲府 19	韮崎 19
市 女	甲府 12	富士吉田 12	塩山 11
町 男	石和 17	南部 17	白根 15
町 女	富沢 11	櫛形 10	春日居 10
村 男	豊富 10	境川 9	武川 8
村 女	豊富 4	(但しオープン競技)	

個人戦 種別	一位	二位	三位
市 男	宮崎克行(甲府) 7	日向良和(都留) 7	岡本和年(甲府) 6
市 女	須田真由美(塩山) 6	黒部容子(大月) 5	渡辺喜美子(吉田) 5
町 男	矢野宏幸(石和) 7	佐野辰巳(南部) 7	不動田光照(上野原) 7
町 女	芦沢理恵(春日居) 5	稲葉香織(富沢) 5	井上貴久子(若草) 4
村 男	川口正秀(豊富) 5	市川 明(境川) 5	青山和登(境川) 4
村 女	薬袋さゆり(豊富) 3	小林(豊富) 1	大沼(境川) 0

あとがき。。。

。本号は結局、国体特集号になってしまいました。選手の戦いぶりをなるべくくわしくと思った余り、その他の記事へしわ寄せがいきました。

。10月には、女子中央研修会、錬士審査と、つづけて弓連の大きな行事を主管しました。しかしその機会に、高いレベルの射を見学(見取り稽古)することも出来たのは幸いでした。

。11月は県内行事メジロ押し。がんばりましょう。